



自然を
楽しむ

④9

「毒の使い方」

北村 豊

(小布施町栗ヶ丘)

寒中に、ヒガンバナの葉が青々と繁っているので、別名は「葉見ず花見ず」とも言います。

全草有毒ですが、とくに鱗茎には、有毒なアルカロイドが多く含まれています。その中でも、ガラタミンは、軽～中等の脳血管性認知症やアルツハイマー病の治療にも用いられています。